

事務事業名		大船渡市学校保健会運営支援事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進				事業期間		予算科目				
	施策名	27 義務教育の充実						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	04 心豊かでたくましく生きる人間の形成				☐ 単年度のみ		01 01	10 10	02 03	02 02	02 03
根拠法令		大船渡市学校保健会会則				☒ 単年度繰返 (開始 S42 年度～)						
所属	部課名	教育委員会事務局 学校教育課				☐ 期間限定複数年度						
	課長名	千田 晃一				【計画期間】						
	係名	学務係	電話	0192-27-3111		年度 ～ 年度						
	担当者	門口 光貴	内線	288		※全体計画欄の総投入量を記入						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
大船渡市では、学校保健・給食分野で最前線に位置づけられる大船渡市学校保健会の運営を支援するため、児童生徒1人あたり95円(24年度)で算定した補助金を交付し、学校保健・給食の普及促進を図っている。 市としての主な業務は、大船渡市学校保健会補助金交付申請書の審査及び補助金の支払い、事業実績報告書の審査である。 大船渡市学校保健会における主な事業は、補助金交付申請書の作成、総会・講演会の開催、学校医部会・養護教諭部会・給食部会による事業運営及びその補助等である。 平成23年度より、大船渡市学校保健会事務局を、学校教育課から盛小学校へ移管した。以降小学校において、2年毎の輪番により事務局を担当する。 ※ 大船渡市学校保健会とは・・・学校長及び教職員、PTA、学校医などで組織される学校保健における各種事業を展開する団体												
全体計画(※期間限定複数年度のみ)												
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金										
		都道府県支出金										
		地方債										
		その他										
		一般財源										
	事業費計(A)	0										
	人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間											
	人件費計(B)	0										
	トータルコスト(A)+(B)	0										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 岩手県学校保健課題解決支援事業に係る事務手続きの補完、総会への出席。 前年度は自主財源によって事業運営したため、補助金申請はなかった。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度事業に加え、大船渡市学校保健会からの補助金交付申請書の受領・審査及び補助金支払い、事業実績報告書の受領・審査					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
					名称				単位	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 大船渡市学校保健会会員(市立小中学校児童生徒)					ア	各市立小中学校数			校	
					イ					
					ウ					
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 学校保健衛生向上に役立ててもらう。					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
					名称				単位	
					カ	各市立小中学校児童生徒数			人	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 児童生徒が健康でたくましく成長できる。					キ					
					ク					
					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
					名称				単位	
					サ	大船渡市学校保健会会員加入率			%	
					シ					
					ス					
(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	311	277		216	216	216	
		事業費計(A)	千円	311	277	0	216	216	216	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	5	5	5	5	5	5	
		人件費計(B)	千円	20	20	20	20	20	20	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	331	297	20	236	236	236	
	⑤活動指標		ア	校	22	20	20	20	20	20
			イ							
			ウ							
⑥対象指標		カ	人	3,103	2,908	2,814	2,678	2,500	2,350	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	%	100	100	100	100	100	100	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0958	事務事業名	大船渡市学校保健会運営支援事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和42年4月に当市における学校保健・給食の改善、向上を図ることを目的として「大船渡市学校保健会」が発足し、その当時から大船渡市では運営補助金を交付している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
市立小中学校児童生徒数が減少している。
平成23年度に、大船渡市学校保健会事務局を学校教育課から盛小学校へ移管。以降小学校において、2年毎の輪番により事務局を担当する。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 運営支援することにより、学校保健の普及促進の一助となっている。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 児童生徒の命に直結する学校保健・給食の普及促進を図ることは、児童生徒の育成に必要不可欠である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図ともに大船渡市学校保健会会員(市立小中学校児童生徒)全員としており、限定追加する必要がない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 市内学校保健関係者で組織されており、これ以上の成果向上余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 大船渡市学校保健会における事業活動ができなくなり、学校保健・給食の環境悪化に繋がる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 学校保健及び学校給食の普及促進のために恒久的に実施するものであり、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 既に小学校へ事務局を移管し、これ以上の削減は見込めない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 保護者からも分担金を徴しており、全市的に公平・公正である。

事務事業ID	0958	事務事業名	大船渡市学校保健会運営支援事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 大船渡市学校保健会運営支援のための補助金支出を適正に執行できた。 また、平成23年度に事務局を小学校へ移管した。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 学校保健・給食の普及促進のため、引き続き適正な補助金交付を行っていく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																							

	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	学校教育課長 千田 晃一

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 学校保健事業は、学校保健への関心と意欲を高めるためと保健活動の推進に必要な事業であり、今後も継続した活動が必要である。																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 医師会や学校医、事務局との連携を密にし、今後の活動の精選を図る。																					
		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
